

「準天頂衛星システム」 評価の視点（論点・考慮すべき事項）について（案）

1 主要な論点

（１）意義・必要性等

本プロジェクトの意義、必要性、経済効果等の説明が不足しており、明確にする必要がある。

（２）測位

測位技術については、cmオーダーの測位を可能にするこの意義について明確にするべき。

（３）事業化

民間による事業化の判断が2004年に行われることになっているが、プロジェクトの開始決定の後に事業化が判断されることが妥当かどうか。

また、事業化されない（民間側が利用しない）と判断された場合のために、プロジェクトを中止するメカニズムを内在させる必要があるのではないか。

2 その他、考慮すべき事項

公共分野を含めた他の利用予定

災害、救急、警察、防衛等、公共分野を含めた多くの分野で利用を図る必要がある。

地上側のアンテナの大きさ、値段の検討状況

民間に利用されるかどうかは、アンテナの大きさ、値段に大きく左右されることから、事前に十分に検討して、目標を設定すべき。

周波数帯の確保等

周波数帯の確保の見通しはどうか。無追尾アンテナで静止衛星と同じ周波数が使用できるのか。

他の通信メディアとの優劣

放送に利用された場合、既存の放送との関係

予算、官民の分担、失敗したときのリスク